

いちごのナミハダニの卵の薬剤感受性検定

栃木県農業環境指導センター

1 検定方法

(1) 供試虫

検定1では平成20年2月に県内8地点、検定2では8月に県内5地点のいちごほ場からナミハダニを採集し、個体群毎にインゲンマメ葉で累代飼育したものをを用いた。

(2) 供試薬剤

表1 検定に用いた薬剤

商品名	薬剤名	検定1 ¹⁾	検定2
テデオン乳剤	テトラジホン乳剤	-	
ニッソラン水和剤	ヘキシチアゾクス水和剤		-
バロックフロアブル	エトキサゾール水和剤		-
コロマイト水和剤	ミルベメクチン水和剤		-
コテツフロアブル(K社製)	クロルフェニル水和剤		-
マイトコーネフロアブル	ピフェナセート水和剤		-
カネマイトフロアブル	アセキノシル水和剤		-
ダニサラバフロアブル	シフルメフェン水和剤		-
ピラニカEW(K社製)	テブフェンピラド乳剤		-

注1) は検定に用いた薬剤、-は用いなかった薬剤を示す

(3) 検定方法

ナミハダニ雌成虫をインゲンのリーフディスク(直径3cm)に5個体ずつ接種し、25℃、16L8Dで24時間産卵させた後、雌成虫を除去した。

水道水で規定の濃度に希釈した薬剤を、卵に対して2~3mg/cm²になるようにハンドスプレーを用いて散布した。対照として水道水を使用した。

薬剤処理から7日後に孵化の有無を調査した。

2 結果の概要

(1) 検定1

ア ダニサラバフロアブルでは効果は高かった。

イ コロマイト水和剤、カネマイトフロアブルでは比較的效果は高かったが、ばらつきがあった。

ウ コテツフロアブル(K社製)では全般的に効果は劣ったが、高い地点もあった。

エ ニッソラン水和剤、バロックフロアブル、マイトコーネフロアブル、ピラニカEW(K社製)では効果は低かった。

表2 いちごのナミハダニ卵の各種薬剤に対する補正死亡卵率(%)¹⁾

商品名	希釈倍率 (倍)	各地点の補正死亡卵率(%)								平均値 (%)	
		1	2	3	4	5	6	7	8		
ニッソラン水和剤	2000	0.0	2.2	5.5	2.8	10.0	0.0	0.0	0.0	11.0	3.9
バロックフロアブル	2000	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
コロマイト水和剤	2000	72.1	63.7	55.5	89.8	72.0	62.4	83.4	66.5	70.7	
コテツフロアブル(K社製)	2000	55.8	11.6	33.7	32.9	46.9	73.1	77.5	91.8	52.9	
マイトコーネフロアブル	1000	19.5	75.2	46.3	90.4	20.5	37.2	5.4	73.8	46.0	
カネマイトフロアブル	1000	77.7	85.1	83.3	93.8	76.6	52.6	48.7	79.7	74.7	
ダニサラバフロアブル	1000	100.0	100.0	100.0	100.0	96.3	100.0	100.0	100.0	99.5	
ピラニカEW(K社製)	2000	2.2	20.4	13.0	1.0	4.6	1.4	9.3	0.0	6.5	
対照区 ²⁾		(96.4)	(100.0)	(97.5)	(100.0)	(100.0)	(98.0)	(95.3)	(92.2)	(97.4)	

注1) 補正死亡卵率(%) = (対照区生存孵化幼虫率 - 処理区生存孵化幼虫率) / 対照区生存孵化幼虫率 × 100

注2) 対照区の()は生存孵化幼虫率を示す

(2) 検定2

ア スターマイトフロアブル、ダニサラバフロアブルでは効果は高かった。

イ テデオン乳剤、カネマイトフロアブル、ピラニカEWではおおむね効果はあった。

ウ バロックフロアブルでは効果は低かった。

表3 いちごのナミハダニ卵の各種薬剤に対する補正死亡卵率(%)¹⁾

商品名	希釈倍率 (倍)	各地点の補正死亡卵率(%)					平均値 (%)
テデオン乳剤	1000	93.9	90.5	91.7	86.7	77.6	88.1
バロックフロアブル	2000	12.5	20.7	3.3	0.0	9.9	8.5
カネマイトフロアブル	1000	97.0	85.0	80.9	86.5	100.0	89.9
スターマイトフロアブル	2000	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
ダニサラバフロアブル	1000	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
ピラニカEW(K社製)	2000	70.2	97.3	38.6	73.6	93.8	74.7
対照区 ²⁾		(100.0)	(98.4)	(99.0)	(97.7)	(94.5)	(97.9)

注1)補正死亡卵率(%)=(対照区生存孵化幼虫率-処理区生存孵化幼虫率)/対照区生存孵化幼虫率×100

注2)対照の()は生存孵化幼虫率を示す